

独 行 道 (武蔵自戒十九ヶ条)

- 1・世^よ々の道に背^{そむ}くことなし
- 2・萬^{よろず}依^え怙^この心なし
- 3・身^みに樂^{たの}を巧^{たく}まず
- 4・一^{いっ}生^{せい}の間^ま慾^{よく}心^{しん}なし
- 5・我^{わが}事^{こと}に於^おいて後^{のち}悔^くなし
- 6・善^{ぜん}悪^{あく}につき他^たを妬^{ねた}まず
- 7・何^{なに}の道^{みち}にも別^{わか}れを悲^{かな}しまず
- 8・自^じ他^たとも^{とも}に恨^{うら}みかこつ心^{しん}なし
- 9・恋^{れん}慕^ぼの思^{おも}いなし
- 10・物^{もの}事^{こと}に敷^{しき}き好^{この}みなし
- 11・居^き宅^{たく}に望^{のぞ}みなし
- 12・身^み一^{いつ}に美^び食^{しょく}を好^{この}まず
- 13・き道^{みち}具^ぐを所^{ところ}持^もせず
- 14・我^{わが}身^みにとり物^{もの}を忌^{いまわ}むことなし
- 15・兵^{へい}具^ぐは格^{かく}別^{べつ}余^よの道^{みち}具^ぐをたしなまず
- 16・道^{みち}にあた^{あた}って死^し厭^{きら}はず
- 17・老^{らう}後^ご財^{ざい}宝^{ほう}所^{しょ}領^{りやう}に心^{しん}なし
- 18・神^{しん}仏^{ぶつ}を尊^{とう}み神^{しん}仏^{ぶつ}を頼^{たの}まず
- 19・心^{しん}常^{じやう}に兵^{へい}法^{ぽう}の道^{みち}を離^{はな}れず

吉川英治著「宮本武蔵」巻末に

なみざい よ つね
波騒は世の常である

なみ まか およ じやうず ざこ ざこ おど
波に任せて泳ぎ上手に 雑魚は歌い 雑魚は躍る

だれ ひやくしゃくした みず こころ
けれど誰が知ろう 百尺下の水の心を

みず ふか
水の深さを